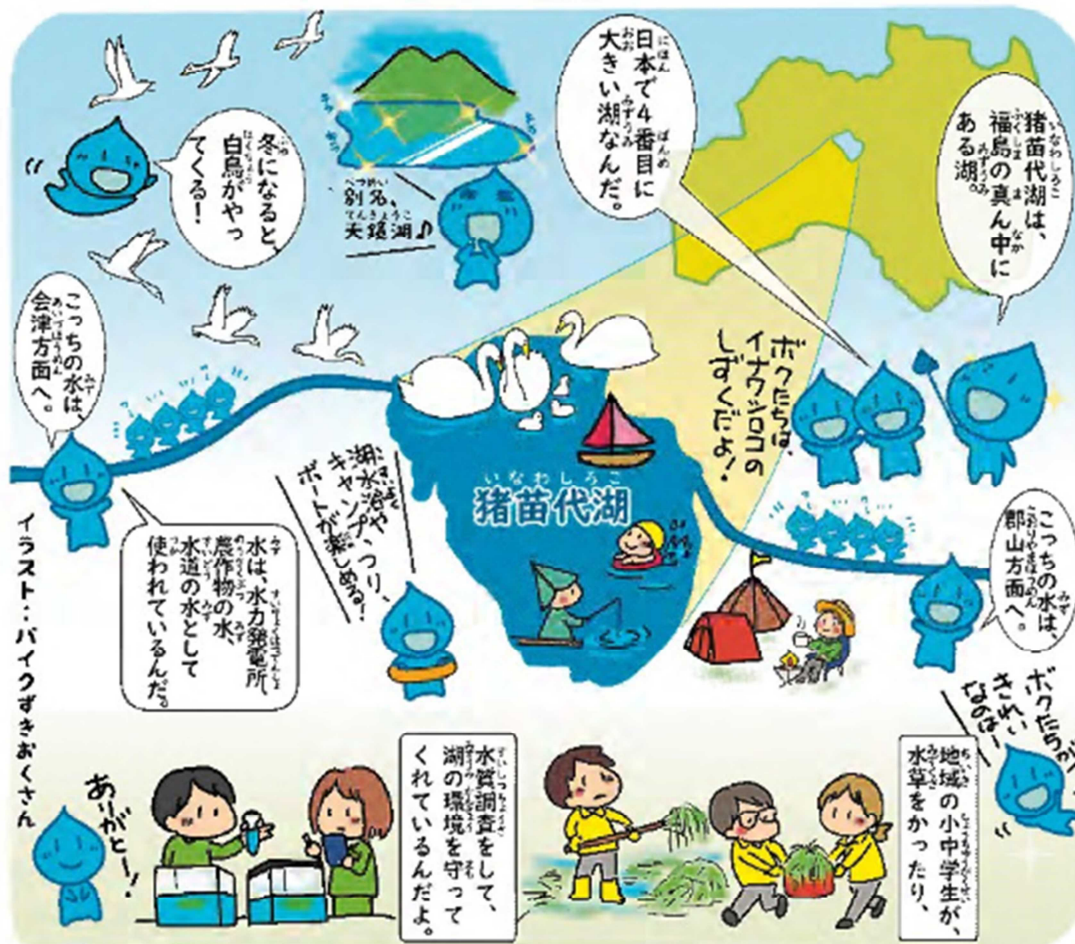




猪苗代湖

澄んだ水 くらし豊かに

【メモ】猪苗代湖の環境を守ろうと、地元の小中学生も、水草を刈り取ったり、水質を調査したりしています。

猪苗代湖は、福島県のほぼ真ん中にあります。猪苗代町と郡山市、会津若松市にまたがり、流れ込む川の水や雨水、地下水でできています。面積は103.3平方キロ、湖の周りは55.3キロで、国内4番目の大きさ。水が澄んでいて美しく、まるで鏡のようなので「天鏡湖」とも呼ばれます。

国の天然記念物ミズギョケ群落があるほか、冬になるとハクチョウが飛んでくるとても知られています。湖水浴やキャンプ、ボートを楽しむ人も訪れます。

猪苗代湖の水は、水力発電や農作物を育てるための水、水道の水にも使われ、たくさんの人のくらしに役立っています。

▲ 10月16日 福島民友新聞掲載

きじをよんでおもったこと、みんなとはなしてかんじたことをかこう。(120字くらい)
